

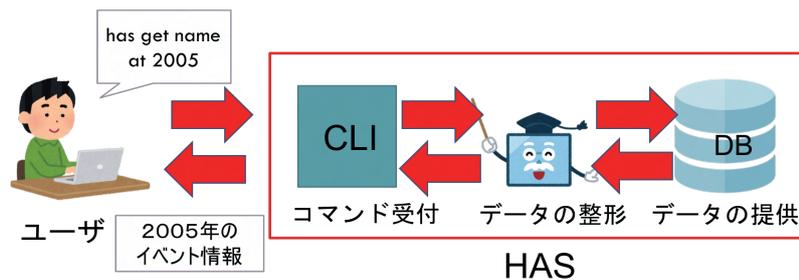
K18 イベント履歴収集システム

情報科学部・情報科学科・教授・菱田 隆彰
hishida@aitech.ac.jp

キーワード 知識ベース、履歴情報、WebAPI

概要

提案するシステムは Historical information Acquisition System と呼び、以降 HAS と記す。HAS は過去の様々な分野のあらゆる出来事の時期を提供するためのシステムである。基本的な機能は、出来事の名前や属性とその発生時期を相互に変換することである。ドメイン名と IP アドレスの変換を行う Domain Name Service のように、HAS によって世界中の出来事の発生時期を一元的に集積・提供が可能となることで、過去の出来事を一意で定量的な情報として様々なシステムで活用することができる。



セールスポイント

1. 実装したコマンド群によって、カテゴリ検索や指定した期間内の履歴検索が可能。
2. 登録情報が簡素な構文によって構成されており、管理が容易。
3. コマンド群はWebAPIとして呼び出すことが可能で、様々なアプリから利用可能。

企業等での活用例、今後の展望等

1. AIの知識ベースとして活用することで、人工対話などでの対応力を強化できる。
2. 現状では過去にあった履歴情報を想定しているが、架空の歴史などへ対応させることで、アニメやライトノベルなどサブカルチャーへのサービス展開を検討している。

参考資料

- ・ 「Historical information Acquisition System (HAS) の実装」, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2019)シンポジウム, pp. 1099-1102, (2019. 7).
- ・ 「イベント履歴収集システムの試作と年齢推定への活用」, 情報処理学会第82回全国大会講演論文集, vol. 2, pp. 313-314, (2020. 3).